

## 令和4年度の向島におけるドブネズミ対策計画（環境省）

### 1. 目的

向島におけるドブネズミによるオガサワラカワラヒワの繁殖阻害リスクを低減するため、オガサワラカワラヒワの繁殖期前にドブネズミの生息密度を減少させる。

### 2. 対象地域

向島全域（約 96ha）

※アクセスが困難な一部の崖地や半島部、対策効果の低い海岸部を除く

### 3. 実施期間

令和4（2022）年8月～10月、12月～令和5年（2023）年3月

### 4. 実施内容

#### （1）ベイトステーション（BS）による殺鼠剤散布

昨年度から今年度前半までのドブネズミ対策（令和3年12月～令和4年6月）の結果、向島におけるドブネズミの低密度化が確認されたことから、年度後半の対策についても同様の対策を行うこととする。なお、秋季にもオガサワラカワラヒワの繁殖可能性があることとされていることから、秋季においてもドブネズミによる繁殖阻害リスクを低減させることを目的として、令和4年8月～10月に追加対策として2回の殺鼠剤の交換を行う（8月下旬と10月上旬を想定）。表1にBS対策計画を示す。

表1 令和4（2022）年度後期BS対策計画

使用殺鼠剤	第1世代抗凝血性剤（ダイファシノン）の粒剤
BS稼働基数	320基
殺鼠剤使用量	各BS各点検回につき100g～200g
点検・殺鼠剤補充頻度	月1回

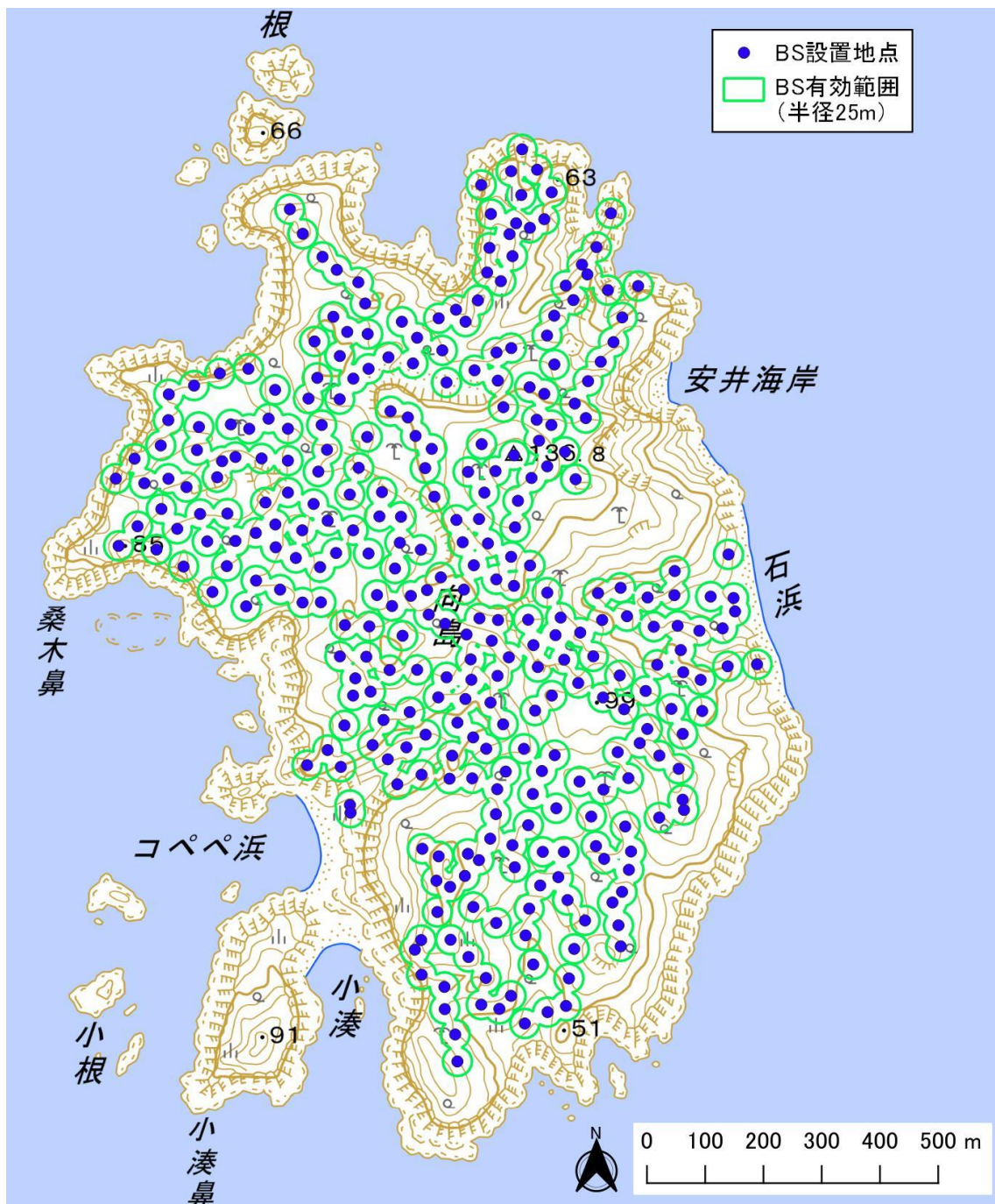


図1 BS設置地点

(2) センサーカメラ (SC) によるモニタリング

年度前半と同様にセンサーカメラによるモニタリングを継続的に実施する。なお、カメラの設置数や設置位置についての変更は行わない。実施内容を表 2 に示す。

表 2 SCによるモニタリング実施内容

設置台数	20 台
点検頻度	月 1 回



図 2 センサーカメラ設置地点